

日本語入力ミニ手帳

パソコンを使用するときに日本語の入力は絶対に必要な能力です。

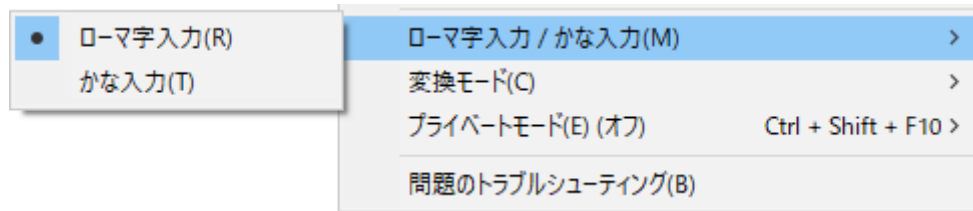
日本語を入力しようとして、ちょっと戸惑ったときに使える方法を書き出してみました。

日本語入力システムとして Windows の標準である MS-IME (Microsoft input method editor) を取り上げますが、一部パソコンの機種などによる違いがありますので、自分で確かめてください。

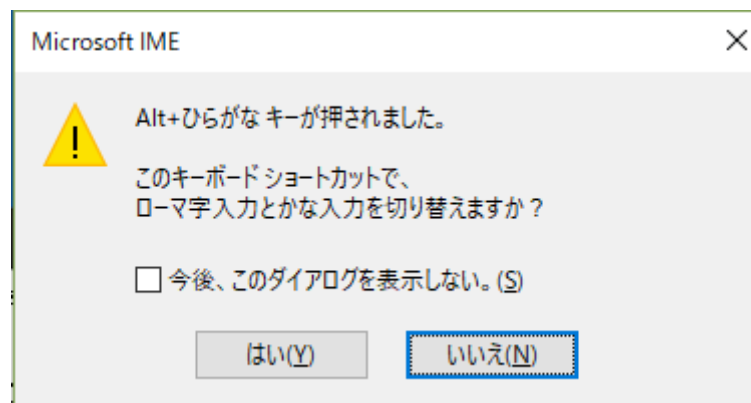
1. 入力方式を選ぶ 2
ローマ字入力・かな入力
2. 入力準備で入力モードを選ぶ 2
日本語入力モード・カタカナ入力モード・半角カタカナモード・英語入力モード
3. 入力した文字の文字種を選ぶ 3
ひらがな・カタカナ・半角・全角英字・半角英字
4. このかなのローマ字入力は 3
「ゑ」など
5. 読めない漢字を入力 6
「瓦」「甍」など
6. かおもじ、特殊記号の入力 8
「(*^艸^)」 「♪」 「▼」 「♥」 など
7. よく使う単語、短文を数文字で入力 (変換辞書に登録) 9
「愛知県江南市赤童子町大堀 90」を「こうなんしや」入力に変換
8. 間違った登録を消すまたは変更する 1 2
9. 予測入力を使用する 1 3
- 1 0. 変換辞書選びで変換効率化 1 5
- 1 1. ユーザー辞書をバックアップする 1 6
- 1 2. 「言語バー」を表示 1 6
- 1 3. モード切替時の「あ」や「A」の表示を消す 1 6

1. 入力方式を選ぶ

日本語の入力方式として、ローマ字入力とかな入力があります。ローマ字入力を使うのが一般的ですが、かな入力は、ローマ字入力より押すキーが少ないのが特徴です。入力方式の切り替えは、通知領域にあるアイコンの〔あ〕または〔A〕の入力モードボタンを右クリックして【ローマ字入力/かな入力】にマウスポインタを移動し、表示された【ローマ字入力】または【かな入力】をクリックすることで入力方式が選べます。



切り替えが頻繁な場合は、〔Alt〕キーと〔カタカナ/ひらがな/ローマ字〕キーを同時に押すと下記のダイアログボックスが表示される。ここで〔はい〕ボタンをクリックすることで「ローマ字入力」から「かな入力」へ、また「かな入力」から「ローマ字入力」へ切り替えられます。



「今後、このダイアログを表示しない。」にチェックすると、以降このダイアログボックスを表示しなくなります。

注意：「表示しない」にしても、再度「表示する」の設定にできますが、利用することに相当の注意を要する『レジストリエディタ』を使用する必要があるためチェックを付けることをおすすめしません。

2. 入力準備で入力モードを選ぶ

MS-IME の入力モードは、ひらがな(あ)・全角カタカナ (カ)・全角英数 (A)・半角カタカナ (ㇿカ)・半角英数(A) です。**注**：() 内は通知領域にある入力モードボタンの表示

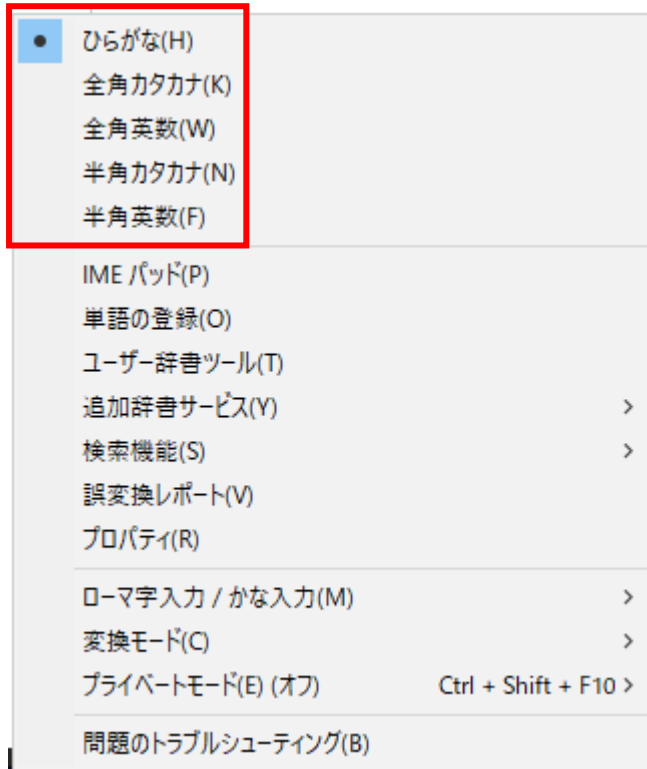
パソコン起動時の入力モードは半角英数、MS-WORD の起動時はひらがな、MS-EXCEL の起動時は半角英数です。

『全角』と『半角』を切り替えるためにはキーボードの左奥にある〔半角/全角〕キーを使用します。〔カタカナ/ひらがな/ローマ字〕キーを押すことでひらがな入力以外の入力モードからひらがな入力にできます。通知領域にあるアイコンの〔あ〕または〔A〕の入力モードボタンをクリックすることでも切り替えられます。

ひらがな入力から全角カタカナ入力への切り替えは、[Shift] キーと [カタカナ/ひらがな/ローマ字] キーを同時に押します。

[無変換] キーを押すごとに、ひらがな入力⇒全角カタカナ入力⇒半角カタカナ入力⇒ひらがな入力⇒・・・と切り替えられます。

通知領域にあるアイコンの [あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックし表示された下記のメニューの上から5項目（【ひらがな】から【半角英数】まで）をチェックすることで表示の入力モードにできます。



3. 入力した文字の文字種を選ぶ

全角のひらがなまたはカタカナで入力して確定していない場合（入力文字の下に...が付いている）文字種をファンクションキーで切り替えることができます。[F6] キーはひらがな、[F7] キーはカタカナ、[F8] キーは半角(カタカナまたは英数)、[F9] キーは全角英数、[F10] は半角英数となります。

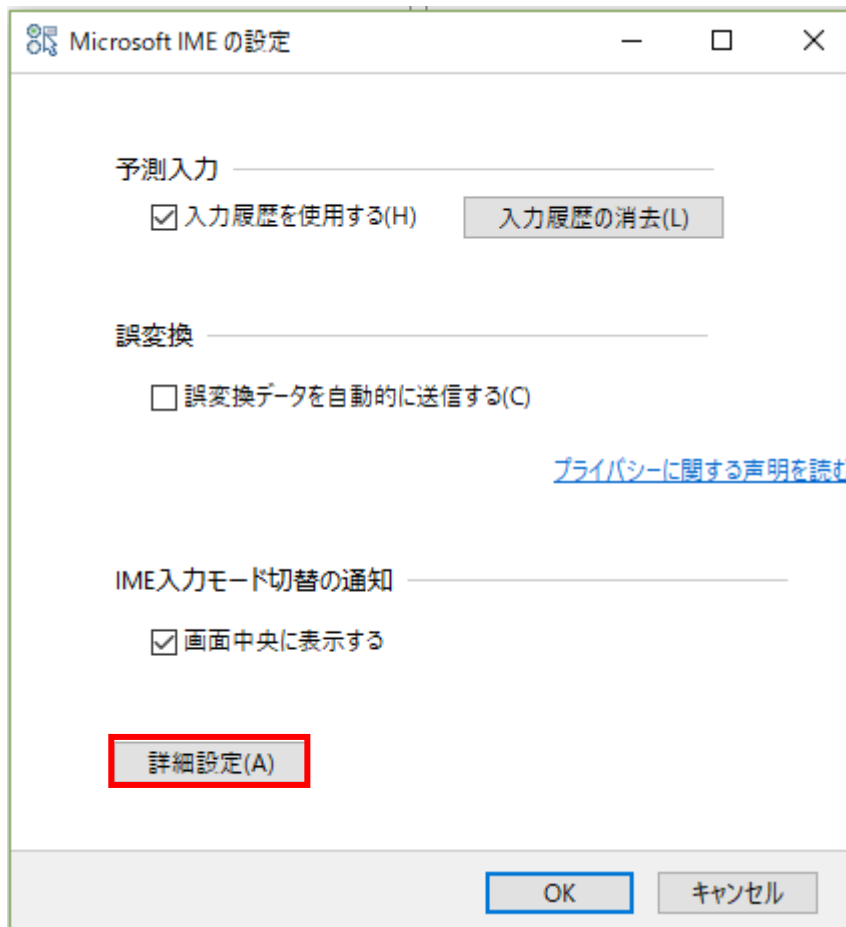
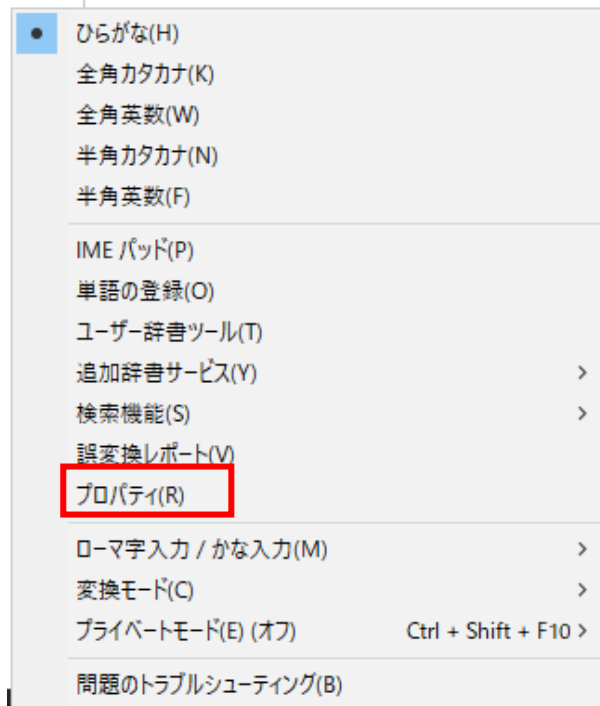
[無変換] キーを押すごとに、ひらがな⇒カタカナ⇒半角カタカナ⇒ひらがな⇒・・・と切り替えることができます。

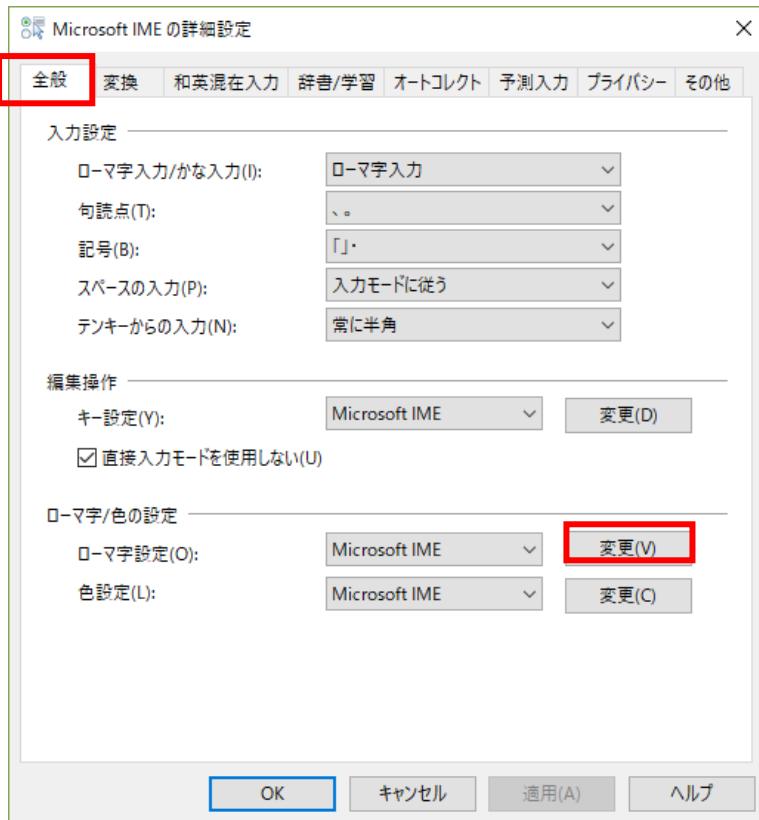
ひらがなまたは全角カタカナを漢字に変換するときは [スペース] キーか [変換] キーを押します。変換された漢字を再度変換するときは、変換したい漢字を選択し [変換] キーか [スペース] キーを押します。**注**：再度変換する場合、変換対象の漢字が最初にひらがなを入力したときの読み通り変換されず別の読みで変換されることがあります。

4. このかなのローマ字入力は

ローマ字入力で、どのように入力したよいかわからない時は、使用する IME のローマ字表を見るのが一番です。MS-IME の場合、通知領域にあるアイコンの [あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【プロパティ】を選び、[詳細設定] ボタ

をクリックします。【Microsoft IME の詳細設定】ダイアログボックスが表示されるので、【全般】タブの【ローマ字/色の設定】の【ローマ字設定】の「変更」ボタンをクリックし表示された【設定】画面の【ローマ字設定】タブでローマ字一覧表を表示します。



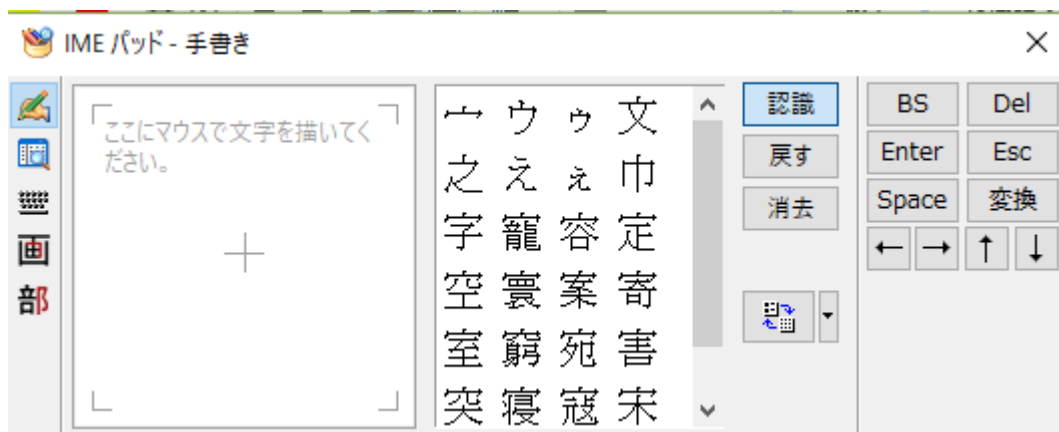


5. 読めない漢字を入力

MS-IME で「瓦」「甍」などの読めない漢字を入力するときは、【IME パッド】を使用します。

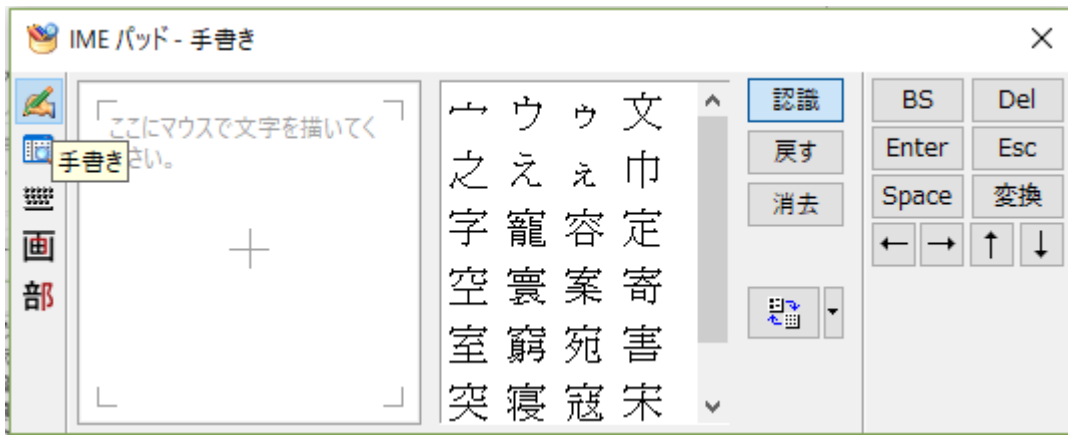
通知領域にあるアイコンの[あ]または[A]の入力モードボタンを右クリックして【IME パッド】をクリックします。

通常【IME パッド】を開くと【手書き】ができる画面が開きます。

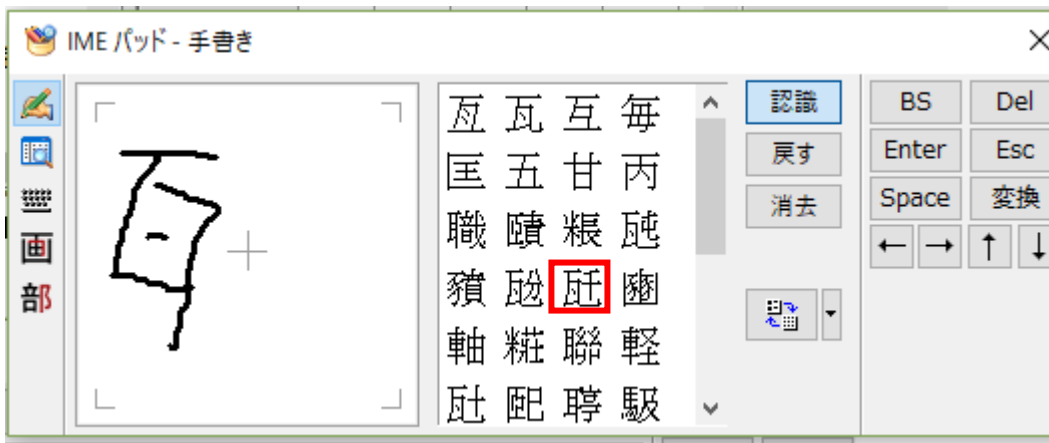


【IME パッド】で漢字入力する方法は、【手書き】、【文字一覧】、【総画数】、【部首】の4つがあります。

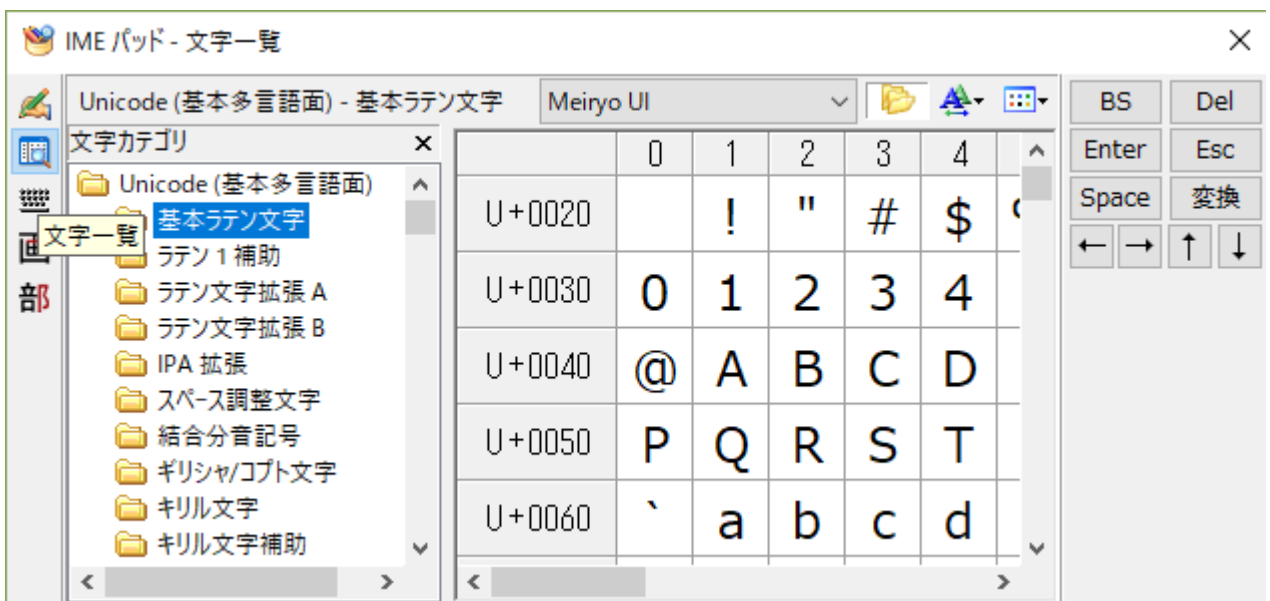
【手書き】は、手書き枠の中にポインターを使って（マウスを動かして）一画ずつ書きます。書き間違えた場合は[戻す] ボタンをクリックすることで一画戻すことができ、[消去] ボタンをクリックすることですべて消去できます。画数が増えるごとに候補漢字が表示されその中から該当する漢字をクリックして選びます。



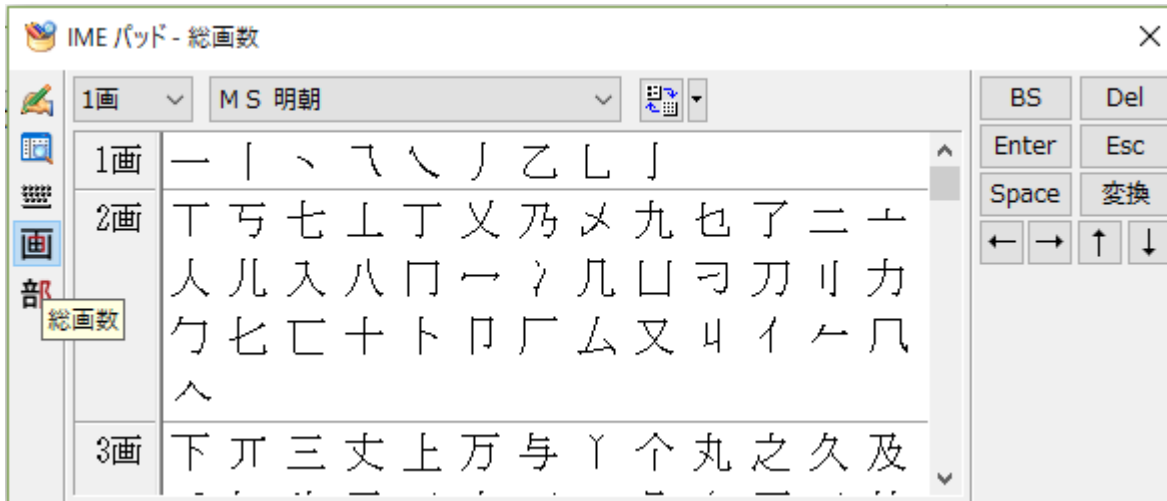
「匸」を入力する。



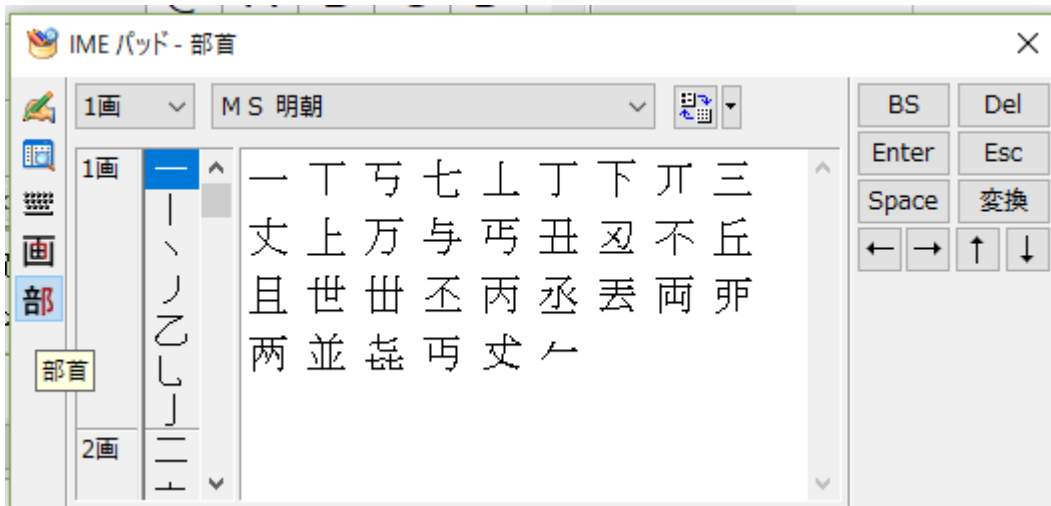
【文字一覧】は、ユニコード（Unicode）に基づく一覧が表示されます。ユニコードは世界の文字や記号にコードを付けることを目的に作られた文字コード体系です。したがって表示される文字数がとてつもなく多いので文字カテゴリ別に表示させることができますが探すのが大変です。コード順に表示されその中から該当する文字をクリックして選びます。



【総画数】は、漢字辞典で画数順に文字を探すと同じ画数順に一覧表が表示され、その中から画数別に表示させ該当する文字をクリックして選びます。



【部首】は、漢字辞典で部首別に文字を探すと同じ部首別に一覧表が表示され、その中から部首別に表示させ該当する文字をクリックして選びます。部首は画数による選択ができます。



6. かおもじ、特殊記号の入力

(「(*´艸`)」)を入力するときは、「かお」と入力し〔スペース〕キーか〔変換〕キーを押します。表示された変換候補から探してクリックします。

(*´艸`)

(~_~)

かお

顔文字

(>_<)



Tab キーで予測候補を選択

特殊記号は、「きごう」や「おんぷ」「やじるし」「さんかく」などの特殊記号の読みを入力します。

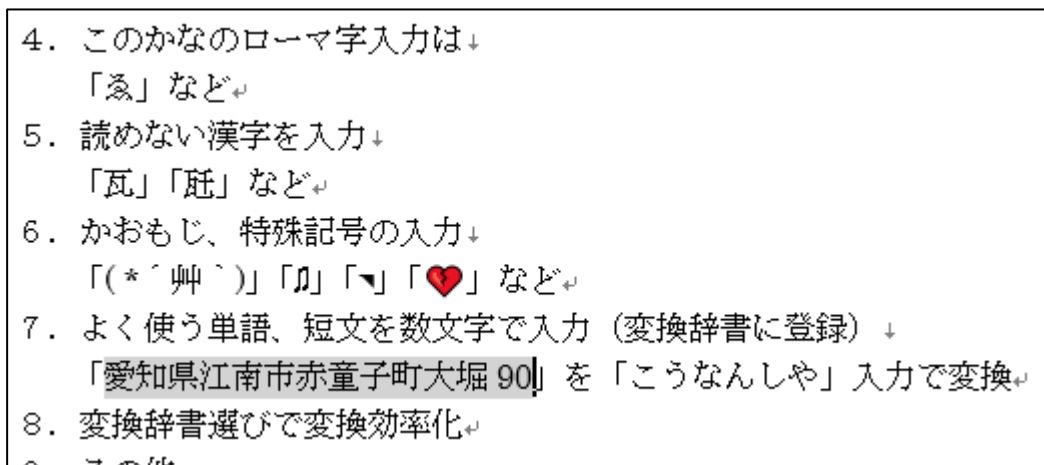
7. よく使う単語、短文を数文字で入力（変換辞書に登録）

名前などの特殊な漢字は一度で変換できないことも多いです。【単語の登録】機能でIMEのユーザー辞書に登録すれば、変換候補として表示されるようになります。単語といっても、60文字までなら、例えば気候のあいさつや住所などの長い文字列の登録も可能です。

ワードで入力した単語などの文字列を選択して「単語の登録」を起動すれば、「登録する文字列」を入力する手間を省けます。変換する際の読みがなや品詞を指定して登録します。

ワードで入力した「愛知県江南市赤童子大堀 90」を「こうなんしや」入力に変換できるようにするには、

①ワードで入力した登録したい文字列を選択します。



②通知領域にあるアイコンの〔あ〕または〔A〕の入力モードボタンを右クリックして【単語の登録】をクリックします。または、〔Ctrl〕キーと〔F7〕キーを押します。



③選択した文字列が【単語】入力欄にすでに入力された状態で【単語の登録】ダイアログボックスが表示されます。

単語の登録

単語の登録

単語(D):
愛知県江南市赤童子大塚90

よみ(R):

ユーザー コメント(C):
(同音異義語などを選択しやすいように候補一覧に表示します)

品詞(P):
正しい品詞を選択すると、より高い変換精度を得られます。

名詞(N) 短縮よみ(W)
 人名(E) 「かぶ」→「株式会社」
 「めーる」→「aoki@example.com」
 姓のみ(Y)
 名のみ(F) 顔文字(O)
 姓と名(L) その他(H)
 地名(M) 名詞・さ変形動

登録と同時に単語情報を送信する(S) <<

ユーザー-辞書ツール(T) 登録(A) 閉じる

単語収集へのご協力をお願い

Microsoft は、お客様が送信した単語を統計的に処理し、その結果を基に、より良い製品の開発を目指しています。

[登録と同時に単語情報を送信する] チェックボックスをオンにして [登録] ボタンをクリックすると、単語登録と同時に登録された単語情報と Microsoft IME の情報が Microsoft に送信されます。チェックボックスをオフにすれば、データは送信されません。

登録と同時に送信されるデータには、登録された単語の読み、語句、品詞、ユーザー コメント、Microsoft IME のバージョン、辞書のバージョン、使用しているオペレーティングシステムのバージョンおよびコンピューター ハードウェアの情報、コンピューターのインターネット プロトコル (IP) アドレスが含まれます。

お客様特有の情報が収集されたデータに含まれることがあります。このような情報が存在する場合でも、Microsoft では、お客様を特定す

プライバシーに関する声明を読む(I)

更新情報(U)

- ④【よみ】入力欄に「こうなんしや」と入力し、【品詞】で〔名詞〕にチェックを付けます。

単語の登録

単語の登録

単語(D):
愛知県江南市赤童子大塚90

よみ(R):
こうなんしや

ユーザー コメント(C):
(同音異義語などを選択しやすいように候補一覧に表示します)

品詞(P):
正しい品詞を選択すると、より高い変換精度を得られます。

名詞(N) 短縮よみ(W)
 人名(E) 「かぶ」→「株式会社」
 「めーる」→「aoki@example.com」
 姓のみ(Y)
 名のみ(F) 顔文字(O)
 姓と名(L) その他(H)
 地名(M) 名詞・さ変形動

登録と同時に単語情報を送信する(S) <<

ユーザー-辞書ツール(T) 登録(A) 閉じる

単語収集へのご協力をお願い

Microsoft は、お客様が送信した単語を統計的に処理し、その結果を基に、より良い製品の開発を目指しています。

[登録と同時に単語情報を送信する] チェックボックスをオンにして [登録] ボタンをクリックすると、単語登録と同時に登録された単語情報と Microsoft IME の情報が Microsoft に送信されます。チェックボックスをオフにすれば、データは送信されません。

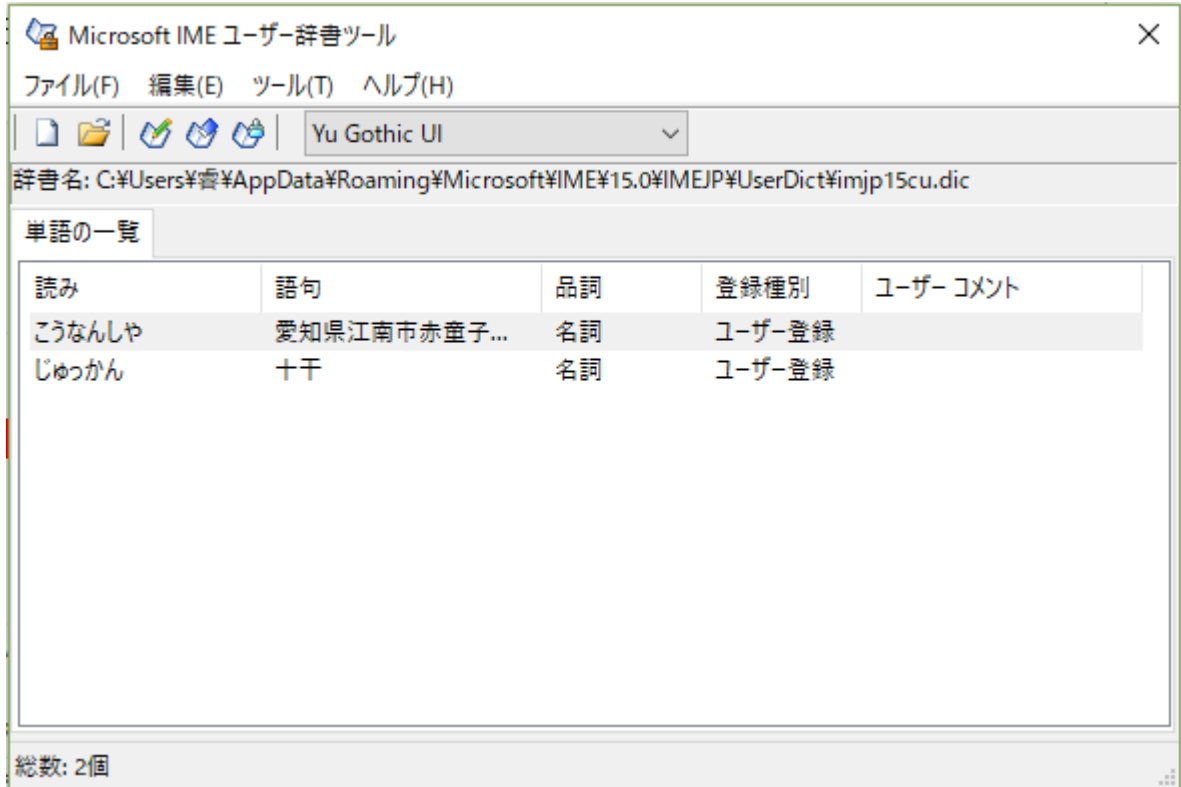
登録と同時に送信されるデータには、登録された単語の読み、語句、品詞、ユーザー コメント、Microsoft IME のバージョン、辞書のバージョン、使用しているオペレーティングシステムのバージョンおよびコンピューター ハードウェアの情報、コンピューターのインターネット プロトコル (IP) アドレスが含まれます。

お客様特有の情報が収集されたデータに含まれることがあります。このような情報が存在する場合でも、Microsoft では、お客様を特定す

プライバシーに関する声明を読む(I)

更新情報(U)

- ⑤下部にある「登録」ボタンをクリックするとユーザー辞書に登録できます。
- ⑥登録された単語を確認するためには、通知領域にあるアイコンの「あ」または「A」の入力モードボタンを右クリックして【ユーザー辞書ツール】をクリックすると、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】が表示され登録内容が確認できます。



なお、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】を表示して編集ツールを使用することで単語登録を行うこともできます。

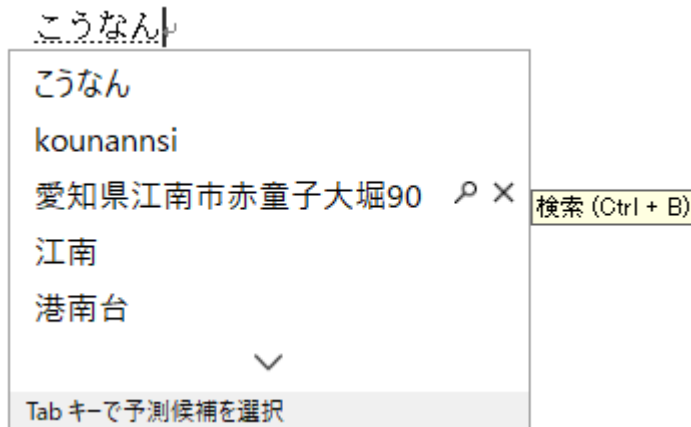
8. 間違った登録を消すまたは変更する

ユーザー辞書へ登録した内容が不要であった、間違っていたときは削除または修正ができます。

削除

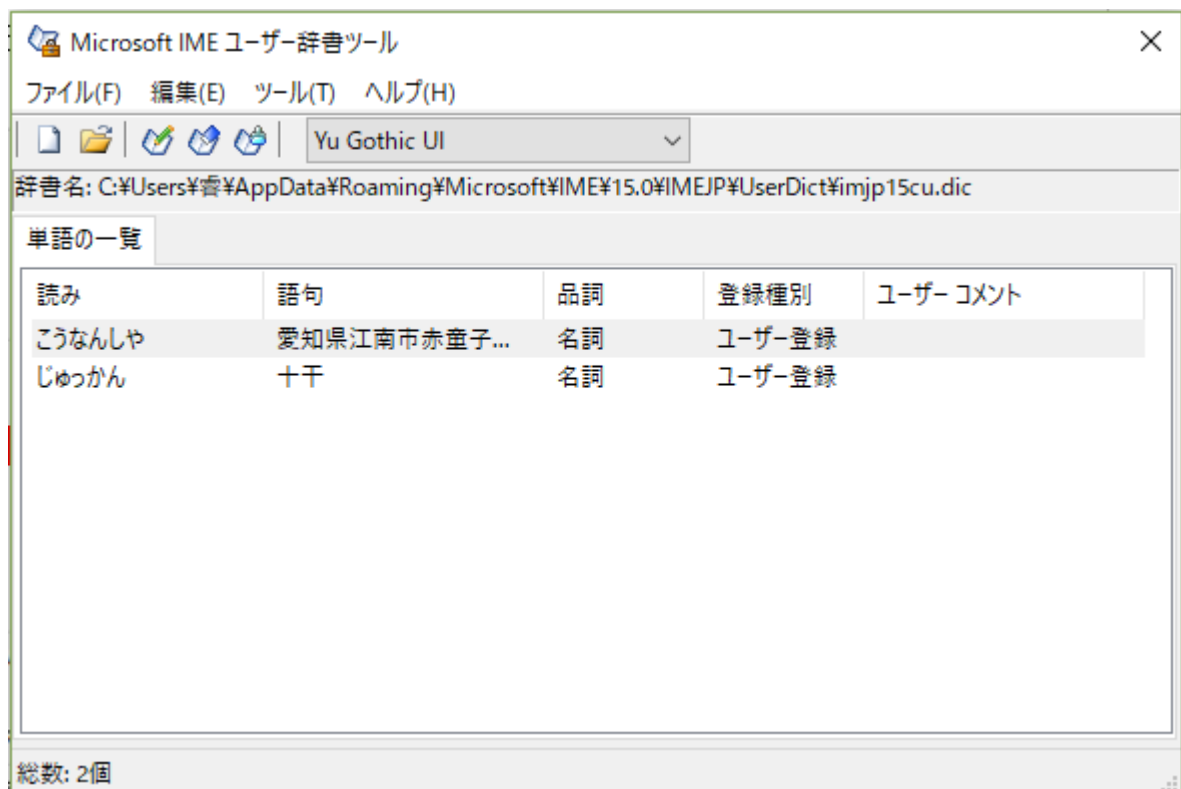
① 予測入力候補が表示されたときに削除する。

予測入力を使用する設定になっている場合は、下図のように予測入力候補が表示されます。このとき、削除したい文字列にポインターを合わせると右側に「×」が表示されます。これをチェックすることで削除ができます。



② 【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】により削除する

通知領域にあるアイコンの [あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【ユーザー辞書ツール】をクリックすると、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】が表示されます。



削除する文字列を選択し、【編集】をクリックして表示されたメニューの【削除】を

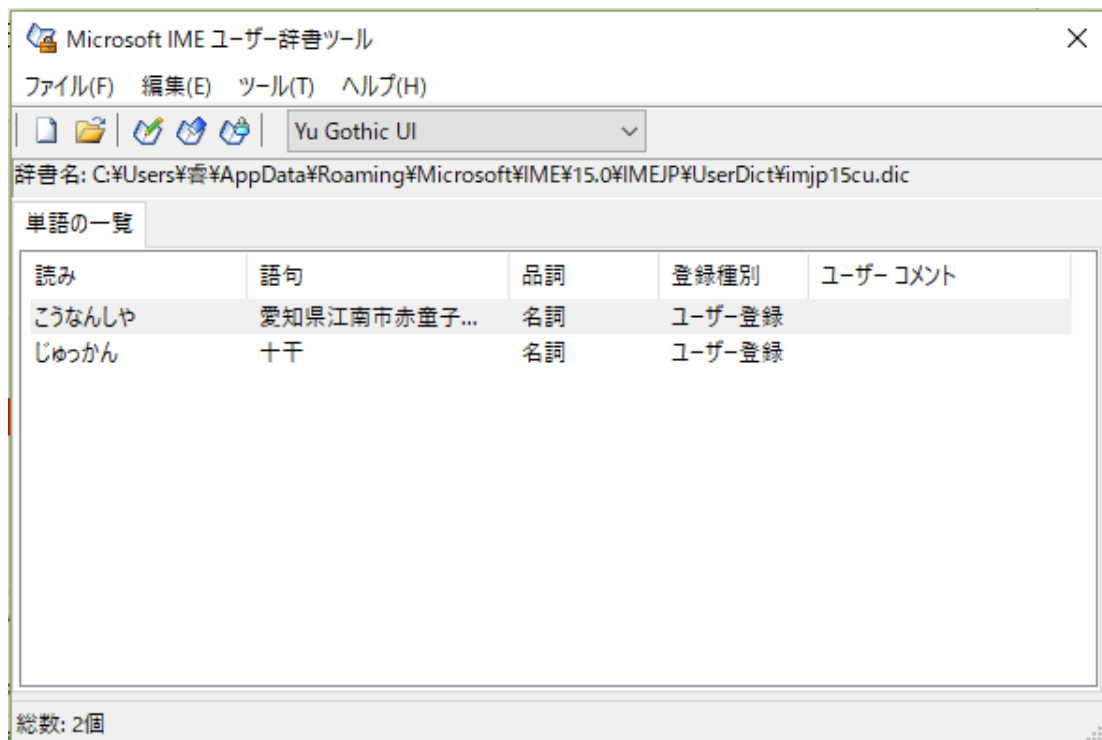
クリックします。



修正

① 【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】により修正する

通知領域にあるアイコンの [あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【ユーザー辞書ツール】をクリックすると、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】が表示されます。



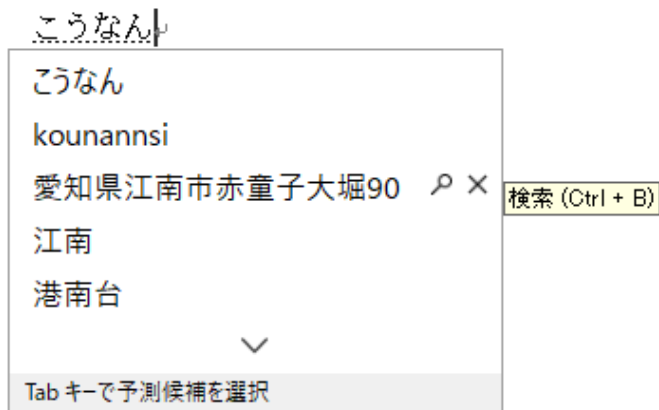
変更する文字列を選択し、【編集】をクリックして表示されたメニューの【変更】をクリックします。



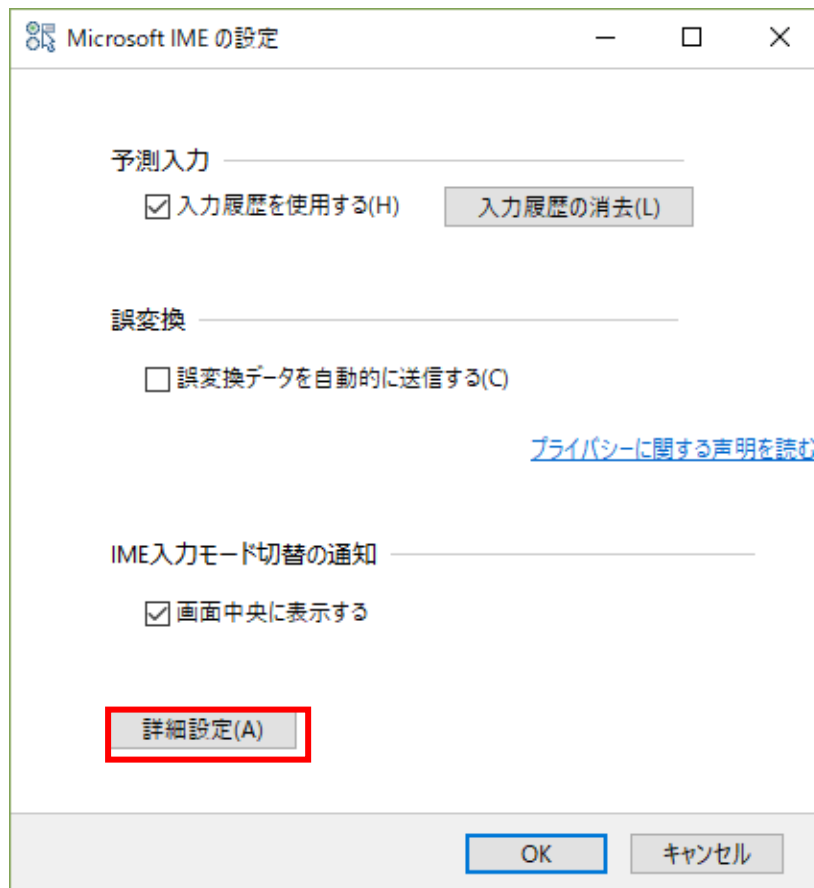
【単語の変更】ボックスが表示され、【単語】【よみ】【品詞】の各項目の修正ができるようになります。

9. 予測入力を使用する

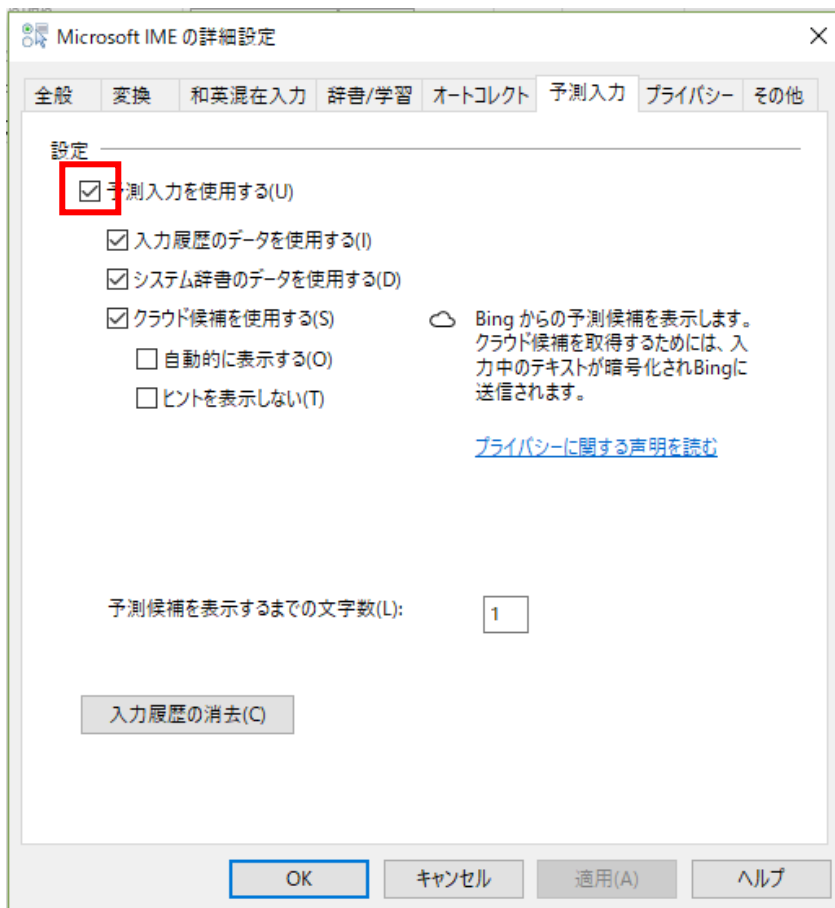
ひらがなを入力して、入力されたひらがなに基づいて変換候補を表示する機能が「予測入力」機能です。



この機能の使い方を【MicrosoftIME の設定】で指定することができます。
通知領域にあるアイコンの [あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして
【プロパティ】をクリックすると、【MicrosoftIME の設定】が表示されます。[詳細
設定] ボタンをクリックすると【MicrosoftIME の詳細設定】が表示されます。



表示された【MicrosoftIME の詳細設定】の【予測入力】タブの【予測入力を使用する】のチェックを外すと予測入力候補は表示されなくなります。



「予測入力を使用する」と設定した場合でも、表示する対象を選択することができます。

- i 入力履歴のデータを使用する：シャットダウンまたは再起動までに複数回入力されメモリに保存された文字列
- ii システム辞書のデータを利用する：IME システムの辞書
- iii クラウド候補を使用する：Microsoft の検索エンジンである Bing により表示文字列が提供される

予測候補の表示は、一文字を入力すると表示されますが、早すぎると感じられるなら候補の表示するまでの入力文字数を多くすることができます。上の図の中ほどより下にある【予測候補を表示するまでの文字数】の数字を増やします。ローマ字入力の場合は、入力した英字の数を指定することになります。

10. 変換辞書選びで変換効率化

IME の変換辞書は、基本として【標準統合辞書】が使用されていますが、そのほかに【郵便番号辞書】【単漢字辞書】があります。

- i 【郵便番号辞書】を使用すると全角数字で郵便番号を入力して、郵便番号単位の住所に簡単に変換できます

Windows10 では、更新アップデート時に郵便番号辞書は更新されます

バージョンの確認は、[あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【追加辞書サービス】をクリックすると、【オープン拡張辞書を追加】と【辞書の設定】の選択ができ、ここで【辞書の設定】をクリックすると【MicrosoftIME の詳細設定】

の【辞書/学習】タブが表示されます。【システム辞書】の【郵便番号辞書】をクリックして選択し、[辞書の情報] ボタンをクリックするとバージョンが確認できます

- ii 【単漢字辞書】を使用すると Shift-JIS にはない Unicode 漢字の変換ができるようになり、変換候補の数が劇的に増えます

1 1. ユーザー辞書をバックアップする

ユーザー辞書の登録が増えると、パソコンの障害時に消えてしまい再度登録するのは大変です。バックアップを取っておき、新しいパソコンへ復元することでこのようなことを避けることができます。

[あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【ユーザー辞書ツール】をクリックすると、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】が開きます。【ツール】をクリックして【一覧の出力】をクリックすると保存フォルダーを決めてユーザー辞書がテキスト形式でバックアップできます。

復元は、[あ] または [A] の入力モードボタンを右クリックして【ユーザー辞書ツール】をクリックすると、【MicrosoftIME ユーザー辞書ツール】が開きます。【ツール】をクリックして【テキストファイルから登録】をクリックし、開いた【テキストファイルから登録】ブロックでテキスト形式のユーザー辞書を指定して [開く] ボタンをクリックする。

1 2. 「言語バー」を表示

Windows 10 では、標準では言語バーが表示されていませんが表示することは可能です。言語バーを表示すれば、[あ] または [A] の通知領域の入力モードボタンは非表示になります。

スタートボタンをクリック後、アプリの一覧の【Windows システム ツール】から【コントロール パネル】を起動。【時計、言語、および地域】にある【言語の追加】をクリックしてから、表示された画面で左側にある【詳細設定】をクリック。【使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する】にチェックを付けると IME の言語バーを表示できます。

1 3. モード切替時の「あ」や「A」の表示を消す

Creators Update 以降の Windows 10 では、IME の変換モードを切り替えたときに画面中央に“あ”や“A”といったモードを表す文字が表示されるようになっています。一瞬の表示ではありますが、入力モードが確認しやすい反面ちらちらとうっとうしいとも感じます。

通知領域の [あ] または [A] の通知領域の入力モードボタンを右クリックして【プロパティ】を選択。表示されたボックスの中より下にある【IME 入力モードの切替の通知】の【画面中央に表示する】のチェックを外せば、通知が非表示になります。